

多摩市版地域医療連携構想について

多摩市版地域医療連携構想を策定した目的・経緯

■全国的な医療に関する方向性

- ✓ 高齢化と長寿命化により、「治す医療」だけでなく、「支える医療」が求められている。
- ✓ 医療、介護、予防、生活支援等のサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が各地域において進められている。
- ✓ 「地域包括ケアシステム」の考え方は、高齢者に限らず全世代を対象にした地域医療の形成が必要。
- ✓ 2045年の医療ニーズ（入院医療・在宅医療）に対し、予測される需要の増加に対応する必要がある。
- ✓ 医療資源や人材の確保が課題となっており、地域医療の機能分化・連携の強化が求められる。
- ✓ 国が作成する地域医療構想や東京都地域医療構想に基づき、医療機能の分化・連携の推進が進められている。

■多摩市の現状や方向性

- ✓ 南多摩保健医療圏は、他圏域への患者流出が多い。
- ✓ 多摩市の医療機能は、急性期から在宅医療までの機能分化が進んでおり連携がしやすい。
- ✓ 日医大永山病院と多摩南部地域病院が、地域医療の中核的な役割を担っている。
- ✓ 市民が望む医療を選択できるよう、医療の情報共有と理解促進が重要。
- ✓ 健幸（健康と幸せ）を守る意識が市民の暮らしに不可欠であり、医療への主体的な関与を促進。
- ✓ 地域の医療機能が効果的に発揮されるよう、目指す医療の姿を関係者間で共有し、協力を進める必要がある。
- ✓ 地域医療連携構想策定協議会で、市民の医療に関わる場面を軸に多摩市の医療の姿を議論し、地域医療の実現に向けた課題を明確に。

➡ 令和2年3月「多摩市版地域医療連携構想」を策定

フォローアップの方法

多摩市版地域医療連携構想調整会議において、以下の観点でフォローアップを実施

- ✓ 本構想に定めた評価の視点や指標を確認し、現状を把握
- ✓ 医療・介護関係者、市民、行政それぞれの立場での取組の進捗状況や今後の取組の方向性について確認

【多摩市版地域医療連携構想策定協議会】

- 第1回 令和元年8月30日
 - ・日常医療・在宅医療を支える医療連携について（その1）
- 第2回 令和元年10月21日
 - ・日常医療・在宅医療を支える医療連携について（その2）
 - ・災害時・救急の医療連携について
- 第3回 令和元年11月25日
 - ・入院・退院時（転院時）の医療連携について
 - ・周産期・小児医療に関する医療連携について
- 第4回 令和元年12月23日
 - ・看取りに関する医療連携について
 - ・多摩市の医療の全体像・将来像について
 - ・多摩市版地域医療連携構想骨子(案)について
- 第5回 令和2年2月3日
 - ・多摩市版地域医療連携構想(案)について



パブリックコメント等を経て、
令和2年3月「多摩市版地域医療連携構想」を策定



構想のフォローアップを実施するために、
新たな会議体を設置

【多摩市版地域医療連携構想調整会議】

- 第1回 令和5年3月27日
 - ・新型コロナウイルス感染症の対応について
- 第2回 令和5年12月14日
 - ・コロナ禍における情報共有・情報連携
- 第3回 令和8年1月16日（※今回の会議）
 - ・多摩市の医療提供体制の現状と課題について
 - ・多摩市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について